

★平成30年7月豪雨ボランティアに参加しました！ 8月20日、21日実施

平成30年7月豪雨により、西日本を中心に大規模な災害が発生しました。被害が大きかった岡山県、広島県の被災地については、幹線道路の整備等、受け入れ準備が整ったことから、神鋼連合と基幹労連からの派遣要請により、災害ボランティアとして当ユニオンから大柿が参加しました。また、神鋼連合加盟組合からは神戸製鋼所労働組合アルミ・銅支部の1名が参加し、基幹労連全体として総勢14名によるボランティア活動を行ってきました。

今回活動を行ったのは広島県呉市音戸町です。目的地に向かう途中、土砂崩れの跡やがれきの山、床上浸水した家などが至るところにあり、今回の災害の大きさを痛感しました。

作業内容は、道路脇や畑に積み上げられたがれきの運び出しや廃棄物の分別、家屋に流れ込んだ土砂の撤去でした。開始直後はどこから手を付けていいのか分からず、途方もない作業だと思いましたが、リーダーの指示のもと、被災地のために気持ちを一つにし、14名全員の力を合わせることで、無事作業を終了することができました。

ボランティアセンターの方たちや周辺住民の方たちからは「非常にチームワークが良い」、「作業中も笑顔で対応していただき気持ちが良い」と言っていただきました。猛暑の中、屋外での作業は非常に厳しいものでしたが、今回の災害ボランティアに参加したことで「人の役に立つ」こと、「人と人との支えあう」ことを強く感じることができました。

被災者の皆さまが安心して生活が出来る環境が一日でも早く整うよう、私たちが出来ることを考え、行動し、助け合っていきましょう。ご安全に！



▲屋内の泥だしの様子



▲土砂の撤去の様子